

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(GDP (IMF WEO) :<http://mylibrary.maeda1.jp/GDP.html> )

(MENA・イスラム圏:<http://mylibrary.maeda1.jp/MenaOicCountries.html> )

マイライブラリー:0424

(注)本稿は 2017 年 10 月 23 日から 27 日まで 5 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

## 世界主要国とMENAの GDP 成長率 ・ 一人当たり GDP(IMF 2017 年 10 月版)

2017.10.31

前田 高行

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 2017/18 年の経済成長率	2
2. 前回(2017 年 4 月)と今回(2017 年 10 月)の比較	3
3. 2017年の各国の名目 GDP	4
4. 2017年の一人当たり GDP	5
5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2014~2018年)	6

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 10 月版(以下 WEO2017Oct)がインターネット上に公開された。

\* URL:

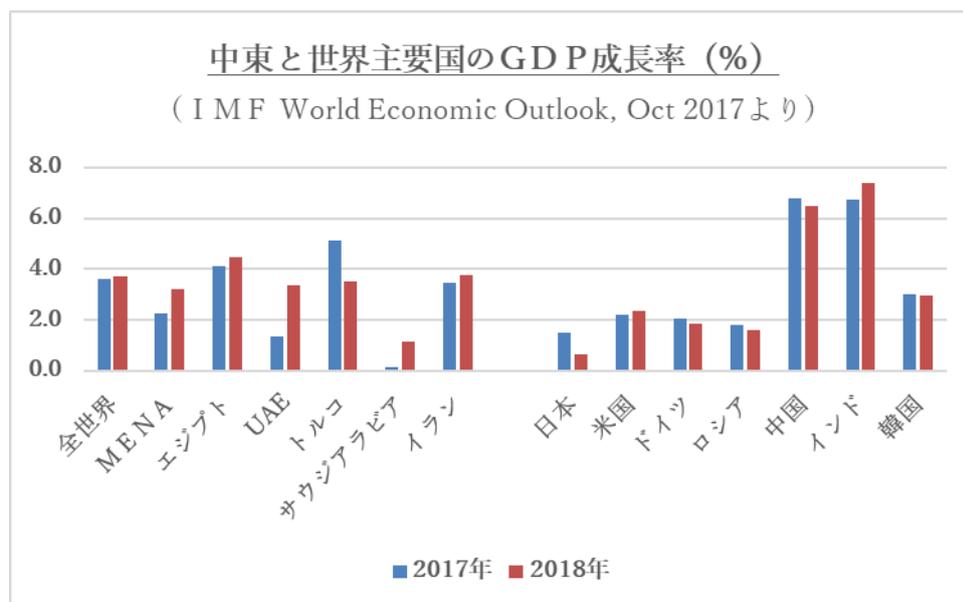
<https://www.imf.org/en/Publications/WEO/Issues/2017/09/19/world-economic-outlook-october-2017>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

ここでは 2014 年から 2018 年までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げ、また成長率については前回の 2017 年 4 月版(以下 WEO2017Apr)と比較して世界主要国およびMENA諸国の経済状況の変化を検証する。

(世界平均を下回る MENA の成長率！)

## 1. 2017/18 年の経済成長率(末尾表 1-B-2-08 参照)



### (1) 世界および主要地域・国の経済成長率

IMFは今年(2017年)の世界の経済成長率を3.6%と見ており、来年(2018年)は今年よりやや高い3.7%と予測している。地域別に見るとASEAN5か国は5.2%の横ばいの見通しであり、EUは今年の2.3%から来年は2.1%に低下する見通しである。国別に見ると今年より来年の成長率が高い国と低い国が混在しており、米国は2.2%→2.3%と若干上向き、インドは6.7%→7.4%と世界的に見て高い成長率が今年、来年と続く見通しである。

これに対して日本は1.5%→0.7%と1%近く下向き予想されている。中国の今年の成長率は6.8%とインドと並ぶ高い成長見通しであるが、来年は0.3%低下し6.5%と見込んでいる。このほかドイツ、ロシア及び韓国も来年は若干成長率が落ち込む見通しである。

### (2) MENA 諸国の経済成長率

IMFによればMENA(中東北アフリカ地域)の今年の成長率2.2%に対し来年は3.2%に上昇すると見込まれているが、両年とも世界平均の成長率を下回っている。国別にみると今年はいラク、クウェイト及びイエメンの3カ国がマイナス成長率(それぞれ-0.4%、-2.1%、-2.0%)であるがその他の国はいずれもプラス成長と見込まれている(シリアはデータなし)。

各国の中でリビアの今年の成長率は55.1%と際立って高い。IMFの同国の経済成長見通しは毎回大きく上下に振れており、リビア経済を左右する石油の生産量が国内の内戦状況で大きく上下し、また価格面では国際市場動向に左右されるためGDP成長率が極めて予測困難であることを示している。

MENAの大国であるトルコ、イランおよびエジプトの今年・来年の成長率はトルコが5.1%→

3.5%、イランは 3.5%→3.8%、エジプトは 4.1%→4.5%であり 3 か国とも今年は順調に成長するが、来年はトルコが減速、イランとエジプトは若干加速すると見込んでいる。これに対して歳入のほとんどを石油・天然ガスに依存している GCC 諸国は今年の成長率がクウェイトは-2.1%、サウジアラビアも 0.1%の低い成長にとどまり、UAE も 1.3%など概して成長率は低く、GCC6 カ国平均では 0.7%の成長にとどまっている。但し来年(2018 年)はバハレーンを除きいずれも今年より高い成長率が予測され、6 カ国平均では 2.9%である。

(下方修正された GCC 諸国の成長率！)

## 2. 前回(2017 年 4 月)と今回(2017 年 10 月)の比較(末尾表 1-B-2-08 参照)

### (2) 世界および主要地域・国

上述のとおり今回(WEO2017Oct)の全世界の成長率見通しは今年(2017 年)が 3.6%であり、来年(2018 年)は 3.7%である。これに対して前回(WEO2017Apr)の見通しでは 2017 年が 3.5%、2018 年は 3.6%であり、両年とも前回より 0.1%上方修正されている。

2017 年の見通しについて国・地域毎に前回と比較すると、国別では日本が 0.3%上方修正され 1.5%の成長率が達成されると見ている。中国、ドイツ、ロシア、韓国なども 0.2~0.4%とわずかではあるが上方修正されている。これに対して米国の今年の成長率は前回(2017 年 4 月)の予測よりは 0.1%下がって 2.2%と見込まれ、インドも 0.5%低下の 6.7%とされている。また地域別では EU が 2.0%から 2.3%にアップすると予測され、ASEAN-5 も 5.0%から 5.2%と上方修正されている。一方 MENA 地域については 2.6%→2.2%に下方修正されている。

来年 2018 年の予測については全世界の成長率は今年 4 月の予測 3.6%に対して今回は 3.7%とわずかながら成長率がアップする見込みである。地域別では EU が 0.3%アップの 2.1%に対し ASEAN-5 は横ばい、MENA は 0.2%ダウンして 3.2%と見込まれている。国ごとに見ると米国が 2.5%→2.3%に見直され、ドイツ、ロシア、日本はそれぞれ+0.3%、+0.2%、+0.1%と上方修正されている。中国の 2018 年成長率は 6.5%で前回の 6.2%よりも改善されている。一方インドは 7.7%(前回 4 月見通し)→7.4%(今回 10 月見通し)と下方修正されている。世界最大の GDP を誇る米国は今年、来年と先進国の中では比較的高い成長率を維持する見通しである。

### (2) MENA 諸国

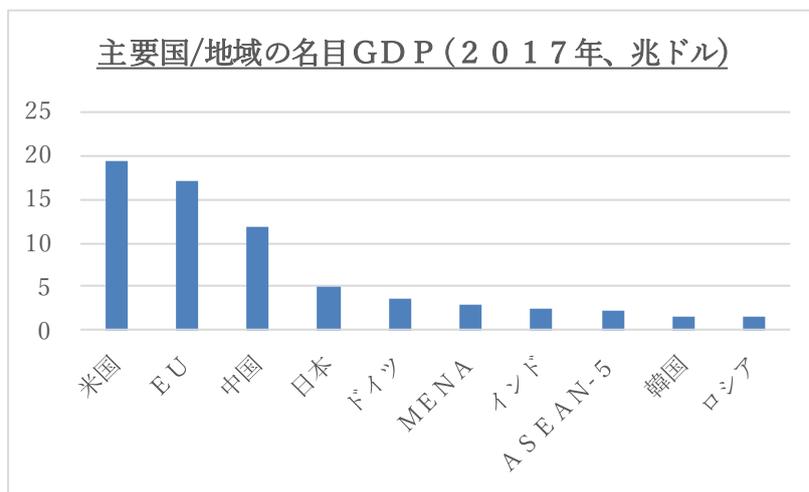
MENA 各国の今年の成長率を前回 4 月と今回 10 月で比較すると上方修正した国と下方修正した国が混在している。上方修正した主な国はトルコ 2.5%→5.1%、イラク -3.1%→-0.4%、リビア 53.7%→55.1%、エジプト 3.5%→4.1%などであり、一方下方修正されたのはイエメン 5.0%→-2.0%、クウェイト -0.2%→ -2.1%、カタール 3.4%→2.5%の他、サウジアラビア、UAE などの各国も下方修正されている。トルコ、エジプトなどの非産油大国が好調であるのに対して、GCC 産油国の経済が停滞している。

さらに来年(2018 年)の成長率予測を今回と前回で比較すると、こちらも上方修正と下方修正が

相半ばしている。しかしリビア(3.0%→31.2%)あるいはイエメン(13.7%→8.5%)の特殊な例を除くと殆どの国は前回の見通しを踏襲している。なおサウジアラビア及び UAE は今年及び来年ともに今回 10 月の見通しは前回より下方修正されており、IMF は厳しい評価を下している。

(米国の GDP は全世界の4分の1！)

### 3. 2017年の各国の名目 GDP(末尾表 1-B-2-09 参照)



IMF によれば今年の世界の名目 GDP(at Current Price)総額は79兆ドルである。地域別では EU が17兆ドル、全体の22%を占めている。また ASEAN5か国は2.3兆ドル(全体の3%)、MENA 地域は2.9兆ドル(同3.7%)である。

国別では米国が世界トップの19兆ドルで全世界に占める割合は24%、同国一国だけで世界の GDP の4分の1を生み出している。米国に次ぐ GDP 大国は中国の12兆ドルであり世界全体の15%を占めている。この2か国が世界でも突出している。第3位は日本(4.9兆ドル)であるが、米国の4分の1あるいは中国の4割にとどまっている。EU の経済大国ドイツの GDP は3.7兆ドルであり、EU 全体の5分の1を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.4兆ドル、韓国及びロシア1.5兆ドルなどである。

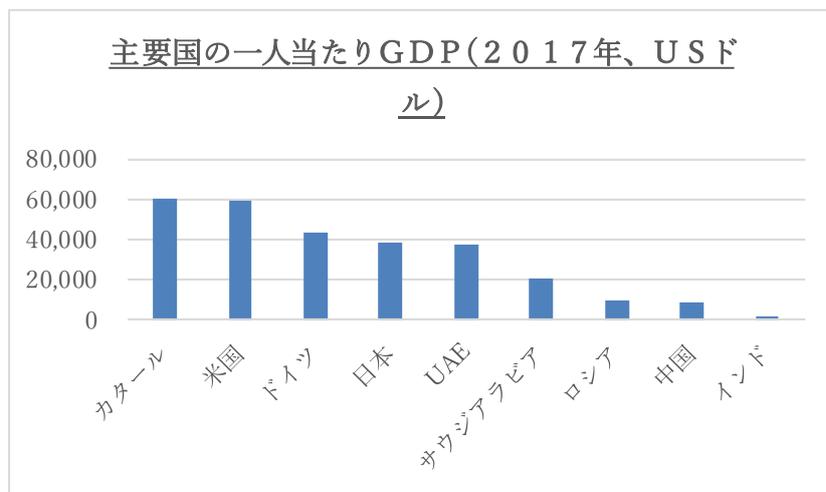
MENA17カ国(エジプト、シリアを除く)の中で2017年の名目 GDP が最も大きい国はトルコの8,410億ドルであり、サウジアラビアが6,790億ドルで続いている。この2か国が MENA の合計 GDP に占める比率はそれぞれ23%と18%であり、両国は MENA 諸国の中では突出している。第3位はイランの4,280億ドル、第4位 UAE(3,790億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの半分程度にとどまっている。

5位以下11位まではイスラエル(3,480億ドル)、イラク(1,930億ドル)、アルジェリア(1,750億ドル)、カタール(1,660億ドル)、クウェイト(1,180億ドル)、モロッコ(1,110億ドル)であり、以上10カ国が年間 GDP1千億ドルを超える国々である。UAE、カタール、クウェイトなど人口の少ない産油国がイラン、イラクなど地域の大国とそん色のない GDP を誇っている。

GDP が1千億ドル未満の国は、オマーン(720億ドル)、レバノン(530億ドル)、ヨルダン及びチュニジア(共に400億ドル)、バハレーン(340億ドル)、リビア(330億ドル)、イエメン(260億ドル)である。MENA で GDP が最も小さいイエメンはサウジアラビア或いはトルコの30分の1程度である。

(MENA で断トツのカタール！)

#### 4. 2017年の一人当たりGDP(末尾表 1-B-2-10 参照)



日本の一人当たり GDP は38,550ドル、米国は59,495ドル、ドイツは44,184ドルである。米国は日本の1.5倍、ドイツは1.1倍である。また韓国は29,730ドルであり、米国の2分の1以下、日本の8割弱である。BRICsと呼ばれる有力新興国のロシア、中国、インドはそれぞれ10,248

ドル、8,583ドル、1,852ドルである。インドは今年6.7%、来年7.4%と中国を上回る高い成長率が見込まれているが(上記1. 2017/2018年の経済成長率参照)、一人当たりGDPはまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。

MENA 諸国の一人当たりGDPは各国間の格差が極めて大きい。LNGの輸出で潤うカタールの一人当たりGDP60,812ドルは米国をしのぎ日本の1.6倍で世界のトップクラスである。MENAで一人当たりGDPが1万ドルを超える国はカタールのほかイスラエル(39,974ドル)、UAE(37,346ドル)、クウェイト(27,237ドル)、バハレーン(25,170ドル)、サウジアラビア(20,957ドル)、オマーン(17,406ドル)、レバノン(11,684ドル)及びトルコ(10,434ドル)の9か国である。

上位7か国のうちイスラエルを除く6か国はGCC諸国であり、石油あるいは天然ガスの恩恵を受けていることがわかる。特に6か国の中で人口がバハレーンに次いで少ないカタールは他を大きく引き離している。GCC6か国の平均一人当たりGDPは31,488ドルに達する。

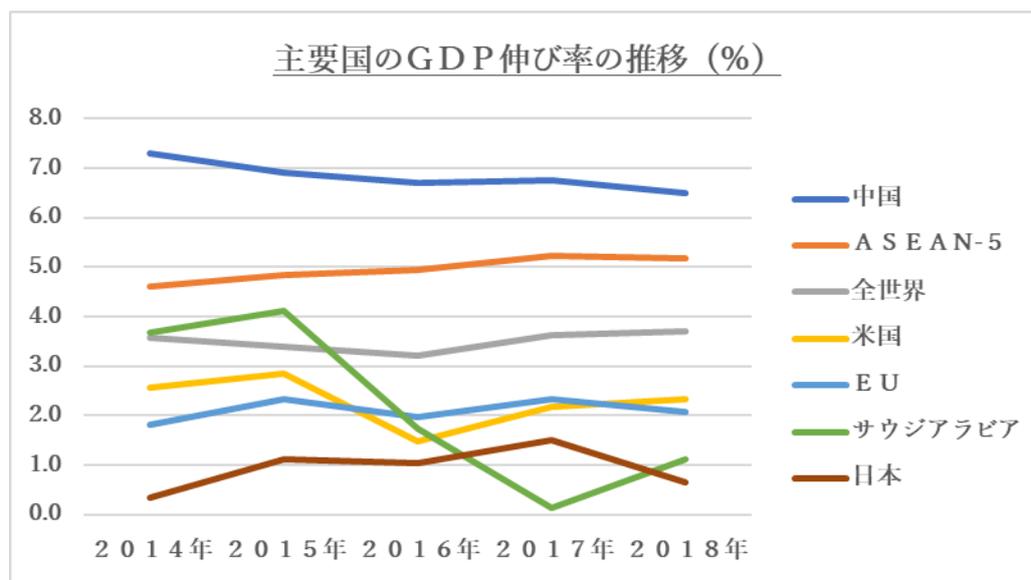
しかし同じ産油国でありながらイラン、イラク、アルジェリアなどは一人当たりGDPが5千ドル前後であり、GCCと大きな格差がある。MENAで最も貧しいのはイエメンであり同国の一人当たりGDP(856ドル)は実にカタールの70分の1にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口についてGCC諸国の場合特に注意すべき点がある。例えばカタールの人口は約270万人(WEO10月版による)で同国の一人当たりGDP64,447ドルは同国のGDP(1,660億ドル。前項参照)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%以上は出稼ぎ労働者が占めており、カタール国籍を有する自国民は40万人足らずと言われる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象で一時的な出稼ぎ労働者は含まないが、カタールの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には表していないと言える。このことは同じように外国人比率が高いUAE或いはクウェイトについても言えることであり、3分の1が外国人であるサウジア

ラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、カタール、UAE、クウェイトの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPが世界のトップクラスであることは間違いない。

## 5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2014~2018年)(末尾表 1-B-2-11 参照)



(世界の平均成長率は3%台半ばで推移、成長率が低下し続ける中国！)

### (1) 世界および主要な地域・国

2014年(実績)から2018年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%台半ばで推移しており今年(2018年)は3.6%、来年(2019年)は3.7%とみられている。

地域別で見ると2014年に4.6%の成長率を達成したASEAN-5か国はその後も他の地域を大幅に上回り、また年々成長率が高まり、今年及び来年は5.2%と予測されている。産油国を多く抱えたMENA地域は石油価格によって影響を受けやすく2014年の2.6%から2016年は5.1%まで上昇したものの今年は一転して2.2%に減速する見通しである。そしてIMFでは来年(2018年)は3.2%に回復すると予測している。

主要国では日本の成長率は2014年の0.3%を底に2015年から2017年までは1.0~1.5%の成長を続けるが、来年は0.7%に減速、いずれにしても以下に述べるとおりインド、中国にははるかに及ばず、米国、ドイツなどと比べても見劣りする低い成長率にとどまっている。

米国の経済は先進国の中でも特に好調であり5年間を通じてほぼ2%台の成長を維持している。中国は2014年の成長率が7%台であったが、2015年以降は6%台に低下しており、5年間で見ると2014年の7.3%が2018年には6.5%と成長率が鈍化している。これに対してインドは5年間で7.5%(2014年)→8.0%(2015年)→7.1%(2016年)→6.7%(2017年)→7.4%(2018年)

018年)と今年以外は中国の成長率を上回り、5年間を通じて7%前後の高い成長を維持している。ロシアは2015年(-2.8%)、2016年(-0.2%)と2年連続のマイナス成長に陥り、今年、来年は漸くプラス成長(+1.8%及び+1.6%)に転ずる見通しである。

(成長率が急激に低下しているサウジアラビア)

## (2) MENA諸国

MENAでGDPが最大のトルコは2014年(5.2%)、2015年(6.1%)と高い成長率であったが、2016年には3.2%に減速、今年は5.1%と勢いを取り戻している。但し来年は再び3.5%に落ちる見通しである。トルコに次ぐGDP大国で世界最大の産油国であるサウジアラビアの5年間の成長率(実績・予想)は3.7%(14年)→4.1%(15年)→1.7%(16年)→0.1%(17年予想)→1.1%(18年見込み)であり、2014年から今年までは急激に成長率が低下している。

サウジアラビアを含むGCC6か国の平均成長率も3.1%(14年)→3.4%(15年)→2.6%(16年)→0.7%(17年見込み)→2.9%(18年予想)と今年の成長率は5年間の中で最も低い。同じ産油国でもイランは2014年の4.0%から2015年には-1.6%のマイナス成長に陥ったあと、昨年(2016年)は12.5%と高い成長を達成、今年、来年と3%台後半の成長が見込まれている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

## MENA と世界主要国の GDP 実質成長率(2017-18年)

国名	2017年10月見通し(今回)			2017年4月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2017年成長率(%)	2018年成長率(%)	増減	2017年成長率(%)	2018年成長率(%)	2017年成長率(%)	2018年成長率(%)
アルジェリア	1.5	0.8	▲ 0.7	1.4	0.6	0.1	0.1
バーレーン	2.5	1.7	▲ 0.7	2.3	1.6	0.2	0.1
エジプト	4.1	4.5	0.4	3.5	4.5	0.6	▲ 0.0
イラン	3.5	3.8	0.3	3.3	4.3	0.2	▲ 0.5
イラク	-0.4	2.9	3.4	▲ 3.1	2.6	2.6	0.3
イスラエル	3.1	3.4	0.3	2.9	3.0	0.2	0.4
ヨルダン	2.3	2.5	0.2	2.3	2.5	0.0	0.0
クウェイト	-2.1	4.1	6.2	▲ 0.2	3.5	▲ 1.8	0.6
レバノン	1.5	2.0	0.5	2.0	2.5	▲ 0.5	▲ 0.5
リビア	55.1	31.2	▲ 23.9	53.7	3.0	1.3	28.2
モロッコ	4.8	3.0	▲ 1.8	4.4	3.9	0.5	▲ 0.9
オマーン	0.0	3.7	3.8	0.4	3.8	▲ 0.4	▲ 0.1
カタール	2.5	3.1	0.6	3.4	2.8	▲ 0.9	0.3
サウジアラビア	0.1	1.1	1.0	0.4	1.3	▲ 0.2	▲ 0.2
シリア	n/a	n/a	-	n/a	n/a	-	-
チュニジア	2.3	3.0	0.7	2.5	3.1	▲ 0.2	▲ 0.1
トルコ	5.1	3.5	▲ 1.6	2.5	3.3	2.7	0.2
UAE	1.3	3.4	2.0	1.5	4.4	▲ 0.1	▲ 1.0
イエメン	-2.0	8.5	10.6	5.0	13.7	▲ 7.0	▲ 5.2
(GCC6カ国平均)	0.7	2.9	2.1	1.3	2.9	▲ 0.5	▲ 0.1
全世界	3.6	3.7	0.1	3.5	3.6	0.2	0.1
EU	2.3	2.1	▲ 0.3	2.0	1.8	0.4	0.3
ASEAN-5	5.2	5.2	▲ 0.0	5.0	5.2	0.2	0.0
MENA	2.2	3.2	1.0	2.6	3.4	▲ 0.3	▲ 0.2
日本	1.5	0.7	▲ 0.9	1.2	0.6	0.3	0.1
米国	2.2	2.3	0.2	2.3	2.5	▲ 0.1	▲ 0.2
ドイツ	2.1	1.8	▲ 0.2	1.6	1.5	0.4	0.3
ロシア	1.8	1.6	▲ 0.2	1.4	1.4	0.4	0.2
中国	6.8	6.5	▲ 0.3	6.6	6.2	0.2	0.3
インド	6.7	7.4	0.7	7.2	7.7	▲ 0.5	▲ 0.3
韓国	3.0	3.0	▲ 0.1	2.7	2.8	0.3	0.1

Source: IMF World Economic Outlook Database Apr2017 &amp; Oct2017

**2017年 GDP at Current Price(2017年10月値)**

(単位:10億ドル)

順位	国名	2017年	%	2016年	増減	増減率(%)
1	トルコ	841	22.5%	863	▲ 22	-2.6%
2	サウジアラビア	679	18.2%	646	32	4.7%
3	イラン	428	11.4%	404	23	5.4%
4	UAE	379	10.1%	349	30	7.9%
5	イスラエル	348	9.3%	318	30	8.7%
6	イラク	193	5.2%	172	21	10.9%
7	アルジェリア	175	4.7%	159	16	9.4%
8	カタール	166	4.5%	156	11	6.3%
9	クウェイト	118	3.2%	111	7	6.3%
10	モロッコ	111	3.0%	104	7	6.4%
11	オマーン	72	1.9%	66	6	7.8%
12	レバノン	53	1.4%	50	2	4.3%
13	ヨルダン	40	1.1%	39	2	4.4%
14	チュニジア	40	1.1%	42	▲ 2	-5.5%
15	バーレーン	34	0.9%	32	2	5.9%
16	リビア	33	0.9%	20	13	38.6%
17	イエメン	26	0.7%	27	▲ 2	-6.4%
	エジプト	n/a	n/a	332		
	シリア	n/a	n/a	n/a		
	合計	3,735	100.0%	3,891	176	4.7%
	(GCC6カ国合計)	1,497	40.1%	1,416	81	5.4%
	全世界	79,281	100.0%	75,368	3,913	4.9%
	EU	17,113	21.6%	16,448	665	3.9%
	ASEAN-5	2,296	2.9%	2,142	153	6.7%
	MENA	2,915	3.7%	2,814	101	3.5%
	日本	4,884	6.2%	4,937	▲ 52	-1.1%
	米国	19,362	24.4%	18,624	738	3.8%
	ドイツ	3,652	4.6%	3,479	173	4.7%
	ロシア	1,469	1.9%	1,283	186	12.7%
	中国	11,938	15.1%	11,232	705	5.9%
	インド	2,439	3.1%	2,264	175	7.2%
	韓国	1,530	1.9%	1,411	119	7.8%

**2017年一人当たりGDP(2017年10月値)**

順位	国名	USDドル
1	カタール	60,812
2	イスラエル	39,974
3	UAE	37,346
4	クウェイト	27,237
5	バーレーン	25,170
6	サウジアラビア	20,957
7	オマーン	17,406
8	レバノン	11,684
9	トルコ	10,434
10	ヨルダン	5,678
11	イラン	5,252
12	リビア	5,166
13	イラク	4,958
14	アルジェリア	4,225
15	チュニジア	3,518
16	モロッコ	3,177
17	イエメン	856
	エジプト	n/a
	シリア	n/a
	GCC6カ国平均	31,488
	日本	38,550
	米国	59,495
	ドイツ	44,184
	ロシア	10,248
	中国	8,583
	インド	1,852
	韓国	29,730

## GDP 対前年伸び率(%、2017年10月値)

国名		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
アルジェリア		3.8	3.7	3.3	1.5	0.8
バーレーン		4.4	2.9	3.0	2.5	1.7
エジプト		2.9	4.4	4.3	4.1	4.5
イラン		3.2	-1.6	12.5	3.5	3.8
イラク		0.7	4.8	11.0	-0.4	2.9
イスラエル		3.5	2.6	4.0	3.1	3.4
ヨルダン		3.1	2.4	2.0	2.3	2.5
クウェイト		0.6	2.1	2.5	-2.1	4.1
レバノン		2.0	0.8	1.0	1.5	2.0
リビア		-53.0	-10.3	-3.0	55.1	31.2
モロッコ		2.7	4.6	1.2	4.8	3.0
オマーン		2.5	4.2	3.0	0.0	3.7
カタール		4.0	3.6	2.2	2.5	3.1
サウジアラビア		3.7	4.1	1.7	0.1	1.1
シリア		n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
チュニジア		2.3	1.1	1.0	2.3	3.0
トルコ		5.2	6.1	3.2	5.1	3.5
UAE		3.3	3.8	3.0	1.3	3.4
イエメン		-0.2	-28.1	-9.8	-2.0	8.5
(GCC6カ国平均)		3.1	3.4	2.6	0.7	2.9
全世界		3.6	3.4	3.2	3.6	3.7
EU		1.8	2.3	2.0	2.3	2.1
ASEAN-5		4.6	4.9	4.9	5.2	5.2
MENA		2.6	2.6	5.1	2.2	3.2
日本		0.3	1.1	1.0	1.5	0.7
米国		2.6	2.9	1.5	2.2	2.3
ドイツ		1.9	1.5	1.9	2.1	1.8
ロシア		0.7	-2.8	-0.2	1.8	1.6
中国		7.3	6.9	6.7	6.8	6.5
インド		7.5	8.0	7.1	6.7	7.4
韓国		3.3	2.8	2.8	3.0	3.0